

「シェアオフィス」 札幌で6月開業へ

仲介ベンチャー

オフィス仲介ベンチャーのオフィスナビ（大阪市中央区）は、複数の法人、個人が同じスペースを共有する「シェアオフィス」を札幌市中心部で

提供する事業を6月にも始める。安倍晋三政権が掲げる「地方創生」政策に合わせ、北海道進出の足がかりを設けた企業のニーズに応じる。

同社には、既存顧客から北海道に拠点を置きたい、という声が寄せられる一方で、維持コストや人脈の無さが足かせになっているのが実情。このため、「知人や取引先と一緒に進出すれば、ビジネスを軌道に乗せやすい。仮に撤退する場合でもシェアオフィスならコストが最小限で済む」（金本修幸社長）ことから、仲介を計画した。

JR札幌駅周辺でオーナーの許可を得た物件をオフィスナビがフロア一括で借り上げ、ブースに仕切り転貸する仕組み。1フロア100坪程度を20

30社で使用する方向で検討している。会議室やコピー機などは共有する。

同社は2月中に札幌支社準備室を開

大阪の商談会に74事業者



和歌山の「おいしい」集結

和歌山県産の食材を集めた「第10回わかやま産品商談会 in 大阪」が、大阪市中央区の大阪マーチャンダイズ・マートで開かれた。写真。県が地元の農水産物、加工食品の販路を拡大するために主催。74事業者が出展し、来場した百貨店やスーパーなどの仕入れ担当者らにアピールした。

あいさつに立った仁坂吉伸知事は、日本洋酒酒造組合が梅、糖類、酒類のみを原料とし、酸味料などを使用していない梅酒を「本格梅酒」と表示する自主基準を昨年制定したことに触れ、「和歌山の『本格梅酒』をぜひ」とPRした。県産の「有田みかん」「あら川の桃」「南高梅」を使って誕生した乳酸菌飲料「紀州フルーツミックスラッシー」（3月21日発売）などの新商品も紹介され、注目を集めていた。

設。社員を1人常駐させ、シェア可能なオフィスビルのデータ蓄積を進める。6月にも専用サイト「On the Office」（オン・ザ・オフィス）をオープンする。

オフィス仲介大手、三鬼商事によると、札幌市中心部の昨年12月のオフィスビル平均空室率は、前月から0・21%下がって5・24%だった。大阪は7・45%、東京都心は4・03%だった。